

令和5年7月27日（木）に湯来・砂谷地域包括支援センターと共催で、佐伯区医療・介護多職種連携情報交換会をオンライン（Zoom）で開催しました。

ナカムラ病院 西原 嘉子先生を講師に、“佐伯区認知症初期集中支援チームの取り組みについて 第2弾”の講義をいただき、三和地域包括支援センターより初期集中支援チームや地域の皆さま、多職種との連携により支援した事例を紹介して意見交換を行いました。

初期集中支援チームの取り組み、連携の窓口である地域包括支援センターに求められる役割について学びの多い会議となりました。

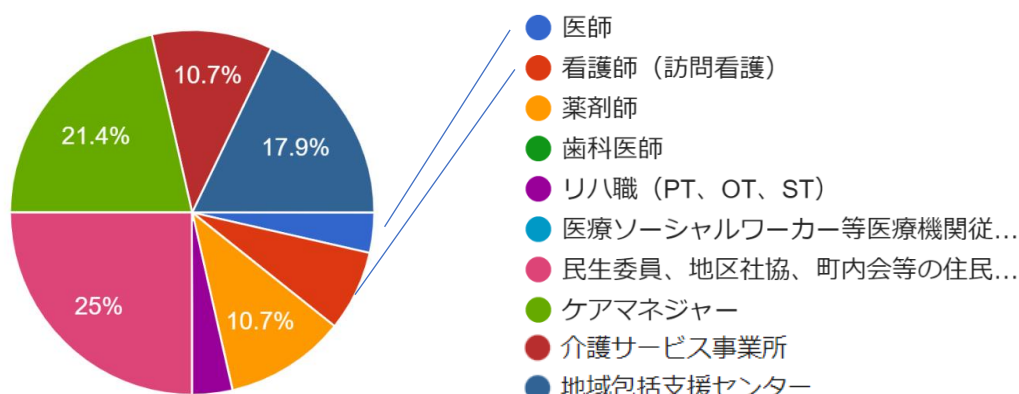
佐伯区認知症初期集中支援チームについてのご案内（ちらし等）は以下をクリックください。

[佐伯区認知症初期集中支援チームについてはこちらをクリックしてください](#)

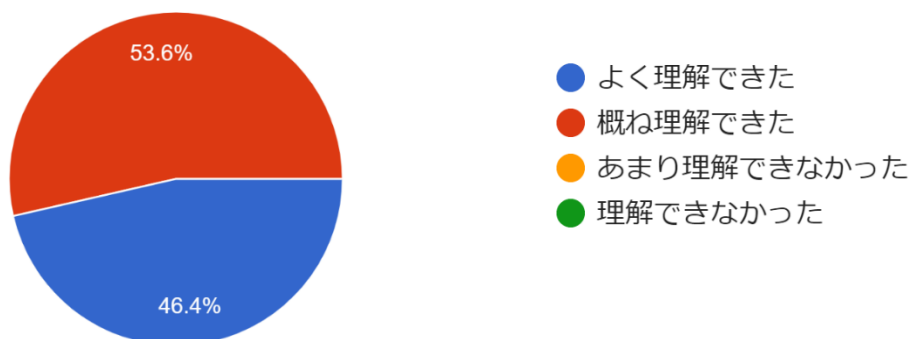
アンケートの集計も添えております。

認知症、認知症の予防や認知症初期集中支援チームについて等ご相談がございましたら、広島市三和地域包括支援センター（☎926-0025）までお気軽にご連絡ください。

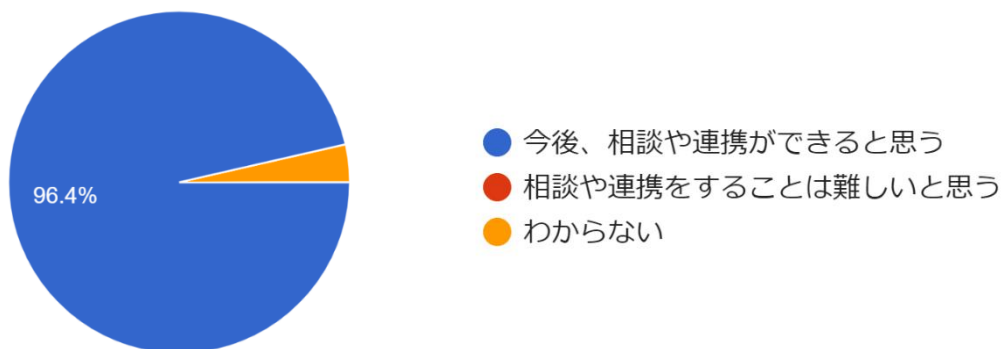
1. 職種を教えてください



2. 佐伯区認知症初期集中支援チームの取り組みについて理解ができましたか？



3. 今日の講義、意見交換を通して、チームとの連携に活かすことができますか？



4. 質問3の連携ができる、連携は難しい、わからないとお答えになった理由を教えてください

外来で来られる認知症の患者さんのご家族が疲弊している姿をよく見かけます。相談させていただきます。

困難事例に対応するときはできるだけいろんな視点から考えることが必要だから包括が窓口になって対応してくださることで、相談がしやすいと感じたチームとして枠組みができていますので、相談しやすい

困った時は包括支援センターに相談します。

小さい事でも包括や医療機関に相談報告することが大切だと思いました。

まずは地域包括へ向けての発信を改めて認識できました

適切な支援につなげたい

自分一人で悩まず、包括に相談しながら行う

包括さんを頼るしかない

困難事例やご家族が遠方ですぐの対応が難しくてもチーム員のかたの協力で前進することができるので相談すること連携することが大切だと思いました。

役割として初期集中チームが対応したあとに関わる人が多いと思うから

結果はどうあれ、具体的な流れが分かったから、まずは些細なことでも相談をしてみたいと思いました。

認知症初期集中支援チームの流れがよく分かった。

5. チームの取り組みについての感想やご意見がありましたらお願いします

とても素晴らしい取り組みだと思います。ありがとうございました。

今回のように顔がみえる集まりが定期的で開催されると良いかと思います。

認知初期に関わるものが今後増えると思うので、事例を参考にさせて頂こうと思います。

意思決定の支援が一番難しいと思う。どのようにアプローチすればよいのか教えて頂けたらと思う。

ひとりよりは多職種での情報共有をすることによって支援しやすいと感じます。事例を通して、訪問するメリットや初期窓口などの情報を聞いて参考になりました。ありがとうございました。

困難事例の話聞いてとても参考になりました。今すぐ解決しないといけないと焦るのではなく、ゆっくり時間をかけることも重要だと感じました。ありがとうございました。

初期集中は、なかなか相談し難いのが現状ですが、事例が参考になりました。今後も、こういった事例紹介の機会があると身近な相談ツールとできます。

導入から支援までの取り組みがかなり大変なこと、全て支援が上手くいくのではないということ改めて感じています。もっとこの支援がうまく繋がっていくことを願います
情報共有と方向性の重要さがわかる

認知症の方に寄り添い本人さんやご家族が生きやすいように積極的に介入してほしい
素早い対応や臨機応変に対応することでご本人やご家族が安心して暮らせる環境を整える
ことができる取り組みをもっと地域に周知していきたいです。

担当者会議に参加させて頂きたいと思います。あまり声がかからないので、..。

困難事例が多く大変と思いますが、介護に繋がるとても影響のある取り組みだと思いました。

もっと地域の方々にも知ってもらいたい。いずれは、認知症を恥ずかしながら、本人も家族も隠さずに生活できる環境になってほしいです。

今後、「認知症を遅らせる研修会」の開催を希望します。

民児協の会合にて定期的に包括の担当者の方々や勉強会の場をもつていただき、地域の困りごとについてとても相談しやすい環境にあります。どのようなことでも相談に乗っていただき活動しやすいと感じております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

チームへ相談する場合、対応する基準は包括が判断するのか、一定基準が設けられているのか、どうなのでしょう。民生委員の方への見守りの負担が大きく、依存的な感じがある印象を受けました。地域全体での見守り活動のシステム化、家族や本人が要望されるなら決まった時間での電話での安否確認などができるように事業化など負担を分散できる体制が作れるとよいなと思いました。

お一人暮らしの方のことを日頃から見放さないことが何よりも大切だと感じました。

チームをどのように生かすかが今後の課題だと思う。一人でやるよりも地域の皆で取り組むことが大切であるため、それが実現できる体制を作っていきたい。

個人的に最近認知症の症状があるなと感じる方が身近にいます。